2024年度 委員会・地区支部 活動報告書

委員会・地区支部（ ホームレスサポート委員 ） 委員長・地区支部長：（ 坂上 竜三 ）

活動目標	<p>鹿児島市委託事業である「ホームレス巡回相談指導業務」を通して、社会的孤立者、生活困窮者に対して寄り添いながら自立支援、権利擁護を行う。</p> <p>(1) 委託事業「ホームレスの巡回相談指導事業」を継続し、路上生活者への社会福祉制度に関する情報の提供。必要時は行政や他団体との連携を図り自立支援を行う。</p> <p>(2) 会員や学生の協力をもらい、年1回の全国一斉概数調査を実施する。また、その活動を通して、学生や会員に社会的孤立者の実態を知ってもらう。</p> <p>(3) 委託事業範囲での支援形態の検討(支援物資や情報提供の資料、支援方法の検討)</p> <p>(4) 勉強会や事例検討会、意見交換会を実施し、委員の路上生活者への支援技術の向上を図る。</p>
具体的活動内容	<p>(1) 委託事業「ホームレスの巡回相談事業」は、年間延べ100名の該当者と面談した。毎月、本港地区は3-4名、中央駅地区は1名、鴨池地区は2名、谷山地区は2名、天文館地区は1名の方と面談を行っている。地域福祉課や支えあう会、鹿児島市以外から鹿児島地区に来られた方などは、市外の市町村関係機関との情報共有にも努めた。</p> <p>(2) 概数調査は2024年1月18日に実施。14名の該当者を確認した。会員の方の協力を頂いた。</p> <p>(3) 2024年6月25日にZOOMでのオリエンテーションを実施。意見交換を行った。</p> <p>(4) 2024年5月21日鹿児島国際大学 高橋教授 教養特講Ⅲにてホームレスサポート委員会の取り組みについて授業を実施した。その後ボランティアで学生3名活動に参加した。</p>
今後の課題	<p>今年度は、ホームレスサポート委員会での勉強会、交流会を予定していたが、実施することができなかった。</p> <p>また路上生活者については声掛けした結果 支え合う会への炊き出しに繋がり、その後生活保護などにつながったケースもある。日中の生活保護課等への同行支援などは、HS委員会だけでは難しい状況がある為、引き続き事務局や支え合う会などとの連携を図っていくことが必要である。</p> <p>住居相談や法律相談等々のケースもあり、支援者が各相談窓口との顔の見える関係を作ることが必要と考えられる。</p>
委員会・研修会等開催状況	主な内容
2024年5月21日(火)	鹿児島国際大学 教養特講Ⅲ 講義
2024年6月25日(火)	オリエンテーション・意見交換会
2025年1月18日(土)	令和6年度 全国一斉概数調査